

スクール・ミッション&スクール・ポリシー

1 スクール・ミッション（存在意義や社会的役割）

「学力の伸長、自己理解の追求、国際的視野の涵養」を教育目標とし、進路探索学習、ものづくり体験学習、身近な地域の環境、文化、福祉などの学習、ビジネスや情報学習といった教育活動を通じて、様々な分野で創造できる生徒、様々な人と協調して社会に貢献できる生徒、困難に挑戦し、課題解決できる生徒を育成します。

2 スクール・ポリシー（学校の教育方針）

● グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

「予想される社会の変化に対応し、高い志と柔軟な感性を用いて、たくましくしなやかに生き抜くことができる人」の育成を目指す。具体的には次の3点を重視する。

- ① 個性を生かした特定の分野で創意工夫や発想力を活かし、新しいものを生み出せる人
- ② 価値観の異なる様々な人とボーダーレスに協調し、周囲の人を動かすことができる人
- ③ リスクを恐れず困難な課題解決に勇気を持って挑戦し、社会に貢献しようとする人

● カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

上記3点を8つの力に分類し、学校の教育活動全体を通して、バランス良く育成するための教育課程を編成する。

- ① 【計画力・実践力・専門力】スペシャリストを目指した知識・技能を生かす力の習得
- ② 【課題発見力・創造力・グローバル力】未知の状況にも対応できる力の育成
- ③ 【貢献意欲 チャレンジ精神】学びを人生や社会に生かそうとする、学びに向かう力・人間性の涵養

● アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

本校の教育理念・方針等について十分理解し、特色ある総合学科教育により自己実現に努める強い意志のある生徒の入学を期待する。具体的には以下の4点となる。

- 1) いずれの教科の学習も真剣な態度で取り組んできた生徒
- 2) 中学校での学習において得意教科があり、入学後も本校の特色ある教科・科目の学習によってその力を伸ばそうと考えている生徒
- 3) 生徒会活動や委員会・係の活動、部活動等における役割を、責任をもって果たしてきた生徒
- 4) 学校外における文化・スポーツ、ボランティア等の活動や検定資格取得等において継続的に取り組んできた生徒

※ 特に推薦選抜においては、上記項目1～4の全てに該当する生徒が望ましい。

※ 「文化・スポーツ等特別推薦」においては、入学後3年間、部活動や学校行事と学習を両立させ、他の模範となる生徒が望ましい。